

IP水性トイコートSi

〈低VOC トルエン・キシレン ゼロ配合〉

水系1液型 樋(トイ)・破風(ハフ)専用塗料

近年、特に一般住宅などにおいては、異なる基材の樋(トイ)と破風(ハフ)が接近している建築物が多く見受けられます。こうした中、このような現場において塗替え塗装を行う際、それぞれの異なる基材に合った塗料の使い分けが難しい箇所となっています。

IP水性トイコートSiは、樋・樋受け金具の基材(硬質塩ビ・鉄部・亜鉛メッキなど)と破風(木部)の異なる基材に対して**同一製品・同一色にて直接塗装ができる水系1液型樋・破風専用塗料**です。塗装時において塗り分けの手間が要らず・テープ養生が最小限で済みますので、工程の短縮化が計れます。

また、高耐候性シリコン樹脂と高性能HALS(光安定剤)との相乗効果により、紫外線が原因で発生したラジカル(塗膜の劣化因子)を捕獲・抑制し、チョーキングや退色の進行をさらに抑えるなど、**1液弱溶剤シリコン塗料をも凌ぐ優れた耐候性を保持するシリコン系ラジカル抑制塗料**です。

さらに、防カビ・防藻効果を付与していますので、湿気などが原因となるカビや藻の発生を長期にわたりシャットアウトします。艶のバリエーションも、艶有り・5分艶調整・3分艶調整をご用意していますので、現場のご要望に幅広く対応できます。

施工例



施工前



施工後

設定色



ダークブラウン
(H09-20B近似色)

ディープブラウン
(H19-30A近似色)

トイブラック
(HN-15近似色)

この設定色見本は印刷ですので、実際とは色目が異なります(上記以外にホワイトを用意しています)。

用途

〔一般住宅 工場 倉庫 学校 病院など〕

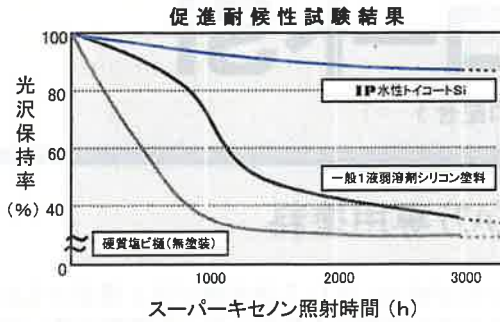
- 樋(硬質塩ビ・鉄部など)・樋受け金具(鉄部・亜鉛メッキなど)
- 破風板・鼻隠し・雨戸・戸袋(木部・鉄部・アルミなど)

色目、および荷姿

製品名	艶	設定色(4色)	荷姿
IP水性トイコートSi	艶有り [5分艶調整] [3分艶調整]	ホワイト ダークブラウン ディープブラウン トイブラック	1.5kg 3.5kg

(注)淡彩色、および濃彩色への調色ができます。5分艶調整・3分艶調整については別途調整料が必要です。

耐候性試験



IP水性トイコートSiは、スーパーキセノン照射3,000時間において光沢保持率が80%以上

仕様書

標準施工仕様書

(20°C RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間	施工面積
素地調整	・ゴミ・ホコリ・油脂類などの付着物、および劣化した旧塗膜は、適切な除去方法を用いて除去物も含め十分に取り除いてください。 ・硬質塩ビ種が無塗装の場合、または旧塗膜が活膜の場合は、サンドペーパーにて軽く目荒らしを行ってください。 ・樋受け金具・クギ頭などにサビの発生がある場合は3種ケレン ^{※1} を行い完全にサビを除去し、IP水性メタルコートサビ止め ^{※2} にてタッチアップ塗装を行ってください。 ・木部にシミ・ヤニの発生がある場合は十分に除去してください。また、吸い込みが激しい場合は、シーラー処理としてIP含浸シーラー ^{※3} を使用してください。また、不陸調整が必要な場合は、IP破風用ファイラー ^{※4} にて調整してください。					
下塗り	IP水性トイコートSi	3~7% (清水)	0.12~0.14kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上	下塗り + 上塗り 57~65m ² /15kg 13~15m ² /3.5kg
上塗り	IP水性トイコートSi	3~7% (清水)	0.11~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	—	

※1 活膜を残し、劣化部分を除去する方法(工法は手工具を主用してワイヤーブラシを併用する作業)。
 ※2 清水にて0~5%希釈を行い、塗布量0.10~0.11kg/m²(1回塗り)にてタッチアップ塗装。

※3 IP含浸シーラーは、原体使用にて1回塗り(0.12~0.15kg/m²)
 ※4 IP破風用ファイラーは清水にて0~5%希釈を行い1回塗り(0.25~0.30kg/m²)

施工についての注意事項

- ◆施工前に本製品が用途・要望・現場の状況に的確であることを十分に確認の上、施工を行ってください。ご不明な点についてはお問い合わせください。
- ◆素地調整は必ず念入りに行ってください。また、素地の乾燥を確認の上、付着物、および劣化した旧塗膜・除去物がないことを十分に確認してください(素地調整が不十分な場合は、塗膜の密着不良や変色などの原因となります)。
- ◆塗布量については、現場における素地の表面状態などにより異なる場合がありますので、標準施工仕様書の塗布量を基準に調整してください。また、一度に厚塗りをしないでください(塗布量をこえる厚塗りは塗料のタレ、塗膜のワレなどの原因となります)。
- ◆塗装方法により希釈率を調整してください。尚、希釈率が7%をこえますと、タレや色分かれの原因となりますので十分に注意してください。
- ◆炎天下や直射日光などにより、気温・素地の表面温度が高い場合は、塗膜乾燥が早まり、作業性や仕上がりが(泡かみなどの原因)に影響します。希釈率を調整したり、朝夕などの涼しい時間帯に施工することをお奨めします。
- ◆他の塗料とは絶対に混ぜないでください。
- ◆塗膜が溶剤・油脂・皮脂などの影響をうける箇所についてはお問い合わせください。
- ◆各工程前に施工面にホコリ・黄砂などの粉塵が付着していないことを十分に確認し、次の工程を行ってください(飛来している場合は、適切な除去方法を用いて除去物も含め十分に取り除いてください)。
- ◆樋・雨戸・樋受け金具・破風などの素地・旧塗膜などの種類によっては、付着や仕上がりに影響する場合がありますので、必ず事前に試験塗りを行ってください(表面に特殊コーティングが施されている場合や素地の劣化が著しく激しい場合は塗装はお避けください)。
- ◆金属面に軟質の塩ビを被覆した塩ビ鋼板がある場合は、軟質の塩ビに含まれる可塑剤により塗膜に悪影響をおよぼしますので塗装はお避けください(別途、軟質塩ビ素地専用塗料のIP軟質塩ビコートSiを用意しています)。
- ◆特殊な加工や薬剤処理(不燃処理・防虫処理など)を施した木部への塗装はお避けください(塗膜の密着不良・フクレ・色ムラの原因となります)。
- ◆可動部(シャッターなど)、および床面など耐摩耗性が要求される箇所、または、塗膜同士が接触する箇所への塗装はお避けください。
- ◆塗装後、約1週間で本来の塗膜性能を発揮しますので、乾燥後すぐに塗面に物などを長時間置かないでください。
- ◆乾燥を十分確認した後、次の工程を行ってください。特に冬期・梅雨期の施工は気温や湿度の影響により乾燥が遅れる場合がありますので、十分に注意してください。
- ◆塗装後、4~5時間は降雨・降雪・結露(夜露)に十分に注意してください(塗膜の密着不良、およびフクレ・色ムラ・白化の原因となります)。
- ◆塗装中、および乾燥過程(塗装後4~5時間経過後も含む)において、降雨・強風が予想される日、気温・素地の表面温度が5°C以下、雰囲気湿度が85%以上の場合は塗装をお避けください。
- ◆本製品の保管または運搬については、直射日光・風雨を避け、雰囲気温度が40°C以上、0°C以下の状態には置かないでください。また、開缶後はなるべく早めにご使用ください。
- ◆本カタログの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。尚、記載内容は再版時に変更する場合がありますので、最新のコピーをご参照ください。

□製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシートをご参照ください。

代理店名

IP インターナショナルペイント株式会社

本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地
 TEL 087-833-3525/FAX 087-833-3527

関東支店 TEL 048-644-3528/FAX 048-643-5291

関西支店 TEL 06-6978-6855/FAX 06-6978-6856

九州出張所 TEL 092-836-5090/FAX 092-836-5091